

2018年3月期 第2四半期 連結決算ハイライト (IFRS)

■増収増益。四半期利益(親会社の所有者に帰属)は前年同期比28億円増と、順調に推移。

◇収益	3,352 億円	3.0% 増収
◇営業活動に係る利益	131 億円	39.5% 増益
◇親会社の所有者に帰属する四半期利益	68 億円	67.8% 増益

(単位:億円)	損益の状況		前年同期比		2018/3期 通期	
	2017/3期 第2四半期	2018/3期 第2四半期	増減額	増減率	見通し	進捗率
収益	3,255	3,352	97	3.0%	7,000	47.9%
売上総利益	477	509	32	6.8%	-	-
販売費・一般管理費	△ 374	△ 383	△ 9	-	-	-
その他の収益・費用	△ 9	5	14	-	-	-
営業活動に係る利益	94	131	37	39.5%	250	52.6%
利息収支	△ 9	△ 10	△ 1	-	-	-
受取配当金	7	5	△ 2	-	-	-
その他の金融収益・費用	△ 1	△ 0	0	-	-	-
金融収益・費用	△ 3	△ 6	△ 3	-	-	-
持分法による投資損益	△ 8	3	11	-	-	-
税引前四半期利益	83	128	45	54.7%	235	54.7%
法人所得税費用	△ 31	△ 45	△ 14	-	-	-
四半期利益	52	83	31	60.7%	-	-
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	41	68	28	67.8%	120	56.9%
1株当たり四半期利益 (円)	48.37	81.10	32.73	67.7%	142.58	56.9%

【収益】
鉄鋼・素材・プラントセグメントを中心に、97億円の増収。

【営業活動に係る利益】
電子・デバイスセグメントや食料セグメントを中心に、37億円の増益。

【親会社所有者に帰属する四半期利益】
持分法による投資損益の良化等により、28億円の増益。

(注)1株当たり四半期利益:
10月1日付で株式併合(5株につき1株)しており、前期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定。

(単位:億円)	収益			営業活動に係る利益		
	2017/3期 第2四半期	2018/3期 第2四半期	前年同期比 増減	2017/3期 第2四半期	2018/3期 第2四半期	前年同期比 増減
電子・デバイス	1,189	1,207	17	63	76	13
食料	1,140	1,146	6	8	24	16
鉄鋼・素材・プラント	563	691	128	4	14	10
車両・航空	301	245	△ 56	15	13	△ 3
報告セグメント合計	3,193	3,289	96	89	126	36
その他(含む調整額)	62	64	1	5	6	1
総合計	3,255	3,352	97	94	131	37

【電子・デバイス】増収増益
ICTソリューション事業は、製造業、金融業向け取引が堅調に推移。モバイル事業は、携帯電話販売代理店子会社の統合効果もあり順調。半導体製造装置事業も、中国向け販売が拡大し、順調に推移。

【食料】増収増益
食品事業は堅調に推移。畜産事業は、市況の安定的な推移を受け好調を維持。食糧事業も、国内飼料販売価格の回復により前年同期比改善。

【鉄鋼・素材・プラント】増収増益
エネルギー事業は、夏場の電力需要低迷により重油販売の苦戦を強いられるも、鉄鋼事業、機能性化学品事業、プラント事業は堅調に推移。海外における油井管事業は油価の安定もあり、復調に転じた。

【車両・航空】減収減益
車両・車載部品事業は堅調に推移。航空宇宙事業は、航空機部品取引の前年同期好調の反動もあり低調な推移。

(単位:億円)	資産・負債及び純資産の状況		前期末比	
	2017/3末	2017/9末	増減	増減率
総資産	4,797	4,870	73	1.5%
グロス有利子負債	1,338	1,245	△ 94	△ 7.0%
ネット有利子負債	554	543	△ 12	△ 2.1%
自己資本(注1)	1,004	1,091	88	8.8%
内、利益剰余金	346	403	58	16.7%
内、その他の資本の 構成要素合計	114	144	30	26.2%
自己資本比率(注2)	20.9%	22.4%	1.5pt上昇	-
ネットDER(注3)	0.55倍	0.50倍	-	-

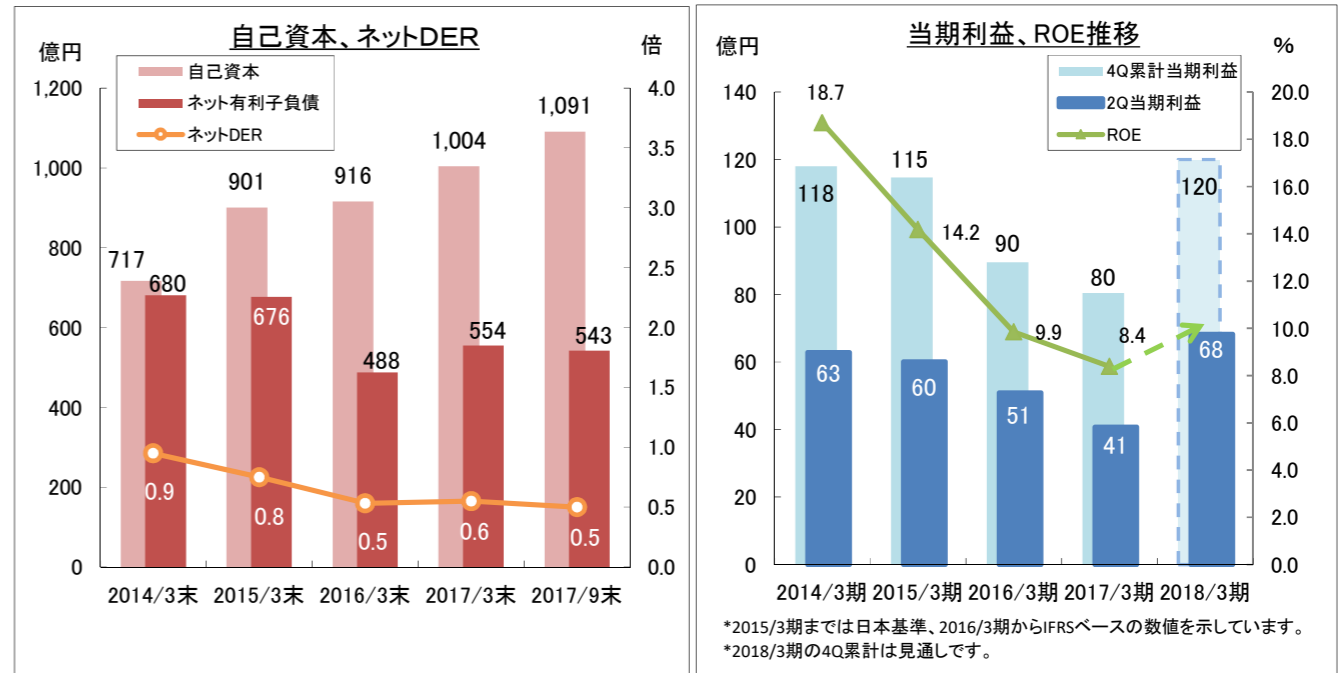
(注1)自己資本は、資本の「当社株主に帰属する持分」 (注2)自己資本比率=自己資本/総資産 (注3)ネットDER=ネット有利子負債/自己資本

【有利子負債】
ネット有利子負債は12億円減少。

【自己資本】
自己資本(資本の「親会社の所有者に帰属する持分」)は、利益剰余金の積上げ等により、88億円増加。

上記の結果、自己資本比率は22.4%、ネットDERは0.5倍に。

(単位:億円)	キャッシュ・フローの状況		【営業活動によるCF】 営業収入の積上げ等により、 32億円のキャッシュ・イン。	【投資活動によるCF】 その他の金融資産の売却による 収入があった一方、有形固定 資産の取得や貸付金の実行 等により、 1億円のキャッシュ・アウト。	【財務活動によるCF】 借入金の返済等により、 115億円のキャッシュ・アウト。	配当の状況	
	2017/3期 第2四半期	2018/3期 第2四半期				2017/3期	2018/3期 (予想)
営業活動によるCF	49	32				1株当たり 3.0 円	1株当たり 3.0 円
投資活動によるCF	△ 117	△ 1				1株当たり 6.0 円	1株当たり 6.0 円
フリーキャッシュフロー	△ 68	31				1株当たり 3.5 円	1株当たり 17.5 円
財務活動によるCF	△ 23	△ 115				1株当たり 1.0 円	1株当たり 1.0 円
現金・現金同等物の増減	△ 92	△ 83					
連結配当性向	23.5%	31.4%					24.5%



*本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
*記載の数値は億円未満を四捨五入しておりますので、個別数値と合計数値が異なる場合があります。